

(1)



任命式を終えたケアリーダーズ達

2016年夏に発足し、9月30日のアクティブ福祉in東京'16での任命式から正式に活動を開始した「東京ケアリーダーズ」。その中のメンバー6名に「なぜ介護の仕事を選んだのか」、「自身の経験から印象に残っているエピソード」についてを語っていただきました。聞き手には同日に高齢協アンバサダーとして就任したフリーアナウンサーの町 亞聖氏を迎え、対談を開催しました。

町 亞聖×東京ケアリーダーズ 特別対談

現場から介護の魅力を届ける 東京ケアリーダーズの活動スタート！

KOUREIKYO JOURNAL & TOKYO

第2号

2016年 12月12日 発行

発行：社会福祉法人東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会 (新宿区神楽河岸1-1) TEL：03-3268-7172 発行人：会長 西岡修

WEB http://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei

東京 高齢協議会 検索

Facebookページ開設しました。 https://www.facebook.com/tokyokourei



目次

町 亞聖×東京ケアリーダーズ 特別対談 1-3
室長コラム 1
協議会TOPIC 4

東京都高齢者福祉施設協議会とは

東京都高齢者福祉施設協議会は、社会福祉法人東京都社会福祉協議会(東社協)の業種別部会連絡協議会に属する部会の一つとして、東京都内の特別養護老人ホーム・養護老人ホーム・軽費老人ホーム・地域包括支援センター・在宅介護支援センター・デイサービスセンター等を会員とする組織です(会員数約1200施設・事業所)。東京の高齢者福祉の発展と、福祉サービスの質の向上を目指して、業種別・職種別・テーマ別などさまざまな委員会活動をとおり、研修会の企画や調査研究、提言活動、ネットワークづくりに取り組んでいます。

なぜ介護の仕事を選んだのか？

町 いよいよ本日より正式に「東京ケアリーダーズ」がスタートとなりました。本日はユニフォームの赤いジャケットで気持ちを新たにといったところでしょうか。
それでは早速、お話しを聞いていきたいと思うのですが、最初はまず介護の仕事をどうしてやろうと思ったんでしょうか？
まず星野君から。
星野(以下、星) 母親が介護の仕事をしていて、実際に自分自身もお年寄りとか子供とかがすごく好きだったので、そういう福祉という業界に興味を持ちました。母親と一緒にの仕事を、どんなものかなだろう、ということの中で福祉系の専門学校に進学しました。



星野 龍一 (略歴) 社福) 聖風会 特別養護老人ホーム六月 介護職員

町 お母さんがやっているというの、少なからず影響があったんですね。
星 そうですね、忙しいうではありましたが、

すごく格好よかったです。
町 でも、実際自分で働くと思うのですが、ギャップとかは感じませんでしたか。
星 僕らが最初考えるイメージというのはお年寄りと一緒に話をして、みたいなイメージでした。実際にやってみたら、やはり認知症や身体状況によっても違い、すごく難しいというか、でも働いていく内に、難しかったことがうまくなるようになっていくのを感じていて、楽しいなというのを年数とともに感じていきます。
町 成功体験というのは、きつと利用者の方では必要になったんですね。

東京ケアリーダーズとは



現場の職員が直接介護の魅力を伝えることにより、介護に対するイメージの向上をはかることを目的とし、チームの活動にあたっては、参加者の主体性を尊重しつつ、メディア等関係者の協力を得ながら、東京都高齢者福祉施設協議会が支援を行っていく形で活動している。

室長コラム

この度、高齢協では、慢性的な人手不足にある介護現場の人材確保が急務となっている中、介護のイメージアップのため、東京ケアリーダーズを発足させました。
先月20日、ミスターラグビーと言われた平尾誠二氏が亡くなりました。平尾氏は、「3K(きつい、汚い、危険)が代名詞だったラグビーのイメージを、自らが「エンジョイ」を体現しながら勝つというスポーツの理想型で支持を集め、カッコよく、美しいラグビーに変えられました。
「世の中もこうなって欲しいなあと思うことがあるなら、まず自分が変わりたい」。これは、あのガンジの言葉です。東京ケアリーダーズの活動が、介護への不安を抱える一般家庭の助けとなる正しい情報発信はもちろん、これからはなくてはならない人材の獲得のため、業界のイメージアップに大きな期待を寄せています。
情報広報室 室長 水野 敬生

家族で介護を行いながら、実際に介護現場でどういったことが問題になっているんだろうと考えていく内に、だんだん興味を持っていきました。
町 全然違うことを勉強して飛び込んだ介護現場ですけれども、実際

に介護職になっていけるんですか？
岡 きつといとは何度も思いましたけれど、自分が進歩していくことで利用者の方が生活しやすい環境を作れているんだと感じる度に、介護をやっているよかったです。

(3)



木村 綾乃
【略歴】社福 池上長寿園
大田区立たまがわ高齢者
在宅サービスセンター 介
護職員

い仕事、どうせ続かないだろう」というような父だったのですが、あるとき体を壊して、脊柱管狭窄症という病気になったのです。祖母のときに何も出来なかったという思いがあったので、うちの父に関しては僕が面倒を見ようとなったんです。本当に飲みに行くのが大好きな父だったので、車椅子で飲みに行くと、帰りは常連さんに押してもらって帰宅する。僕が呼び出されることも多々ありました。ある夏の日、急に父が甘いものをずっと飲むようになって、受診に行った結果、末期の膵臓がんでした。

医者からは「余命は3カ月です」と言われて、父にはがんの宣告や余命のことは言わなかったのですが、相談して「じゃあ、旅行だけ行かせてください」と。でも、誰かがついて行かないとだめですよ」といや大丈夫です、うちには介護士がいまから」と言われて。(笑)それで家族で温泉に行きました。そこからどんどん体調が悪くなって行って、トイレに行けていたのがおむつになって、自分でパッドをかえていたのが替えられなくなつて。ただ最新の最期まで、看護師さんには「うちには介護士がいるから、介護士が来てくれるからパッドは替えなくていいよ」と言っていたみたいなんです。

その後余命どおりに亡くなったのですが、「うちには介護士がいる」と言ってくれていて、この仕事をしていたよかったです。納涼祭の日に、自分が付き添って案内をしていて、締めくくりに花火を園内で打ち上げたんです。「ああ、もう今日はいいものが見れた。死ぬ前にいいものが見れた。あなたのおかげだ。あなたはまだ入ったばかりだけど、これから頑張っていくんだよ」と、思ってもいないようなことを言われてしまつて、それがなぜだかすごく印象に残つたんです。先月その方は肺炎で亡くなつてしまつたんですが、もっと何か喜べるような事がしてあげられなかったかなと心残りがある中、あつて、一番忘れられない経験となつています。

でも、そのおばあちゃんはずっと怒ること、岡本君を励まして、「この子は叱って伸びる子だ」と思っていたのかも、しれません。でも皆さん本当にいろいろな宝物みたいな経験があつて、私がすごくジーンと来てしまいましたし、これからの介護は大丈夫だと、皆さんのエピソードで感じました。

これから東京ケアリーダーズでどんなことに取り組んでいくのか

星 今回若手たちが集まつてアピールしていくというところなので、はじめに「介護ってこういう仕事なんです」ということで入ってくる人もいれば、「何か面白い事をやっていると」ということで来てくれる人もいます。元気がだたり、未熟なりに頑張っている姿みたいなところも発信していくことで、ちょっとでも関心を持ってもらえればいいなと思います。

杉 僕らの職場って、やっぱりすごく閉鎖的な空間なんだと思います。ネガティブな部分ばかり



久保 素子
【略歴】社福 江寿会 アゼ
リーアネックス 介護職員

の架け橋となれるように、そういった環境作りに努めていきたいと思つています。

斉 やる、やらないというよりもまず興味を持ってもらうことが大事だと思つたので、そのきっかけになればと思つています。初めから介護一本で目指している方もいれば、私みたいな転職組もいますので、どんな場所からでも興味を持ったら始められるんだということを皆さんに知ってもらえたらいいなと思つています。

木 ちょっと前に行った研修の先生がすごく熱い方で、「自分の施設の利用者さんを4年後のオリンピックに全員連れて行くんだ」という目標を持っています。ケアリーダーズとしてもそういう目標を持って動いている姿を見ることができたら「ああ、こんな仕事があったんだ」「この仕事はこんなにお年寄りを生き生きさせることができるんだ」という部分を、感じてもらえるんじゃないかと思つています。

久 介護を志してやっている人というのは何か目的や理由があつて、これから働く人も、今働いている人も、もう一度介護のよさ、楽しさややりがいを感じたいと思つています。きっかけになればいいなと思つています。若い世代だけではなく、その親世代の方にも「とても楽しい仕事ですよ」ということを伝えられるよう前向きに取り組みたいと思つています。

に任せることの一番いいところだと思つています。ぜひ自信を持ってこれからPRしていったらいいです。私も発信するお手伝いをしていきますので、ぜひこれから一緒に頑張っていければと思つています。ありがとうございます。(了)



聞き手：町 亜聖
【略歴】フリーアナウンサー。脳障害のため車椅子の生活を送っていた母と過ごした10年の日々、そして母と父を亡くした経験をまとめた著書「十年介護」を小学館文庫から出版。医療と介護を生涯のテーマに取材、啓発活動が続ける。2016年秋から高齢協アンバサダーに就任。

東京都高齢者福祉施設協議会

TOPIC

アクティブ福祉ランドデザイン改定作業進行中

平成25年6月に策定された『アクティブ福祉ランドデザイン』から3年が経ち、高齢者福祉・介護を取り巻く環境も大きく変化しました。それに伴いより一層都民の皆様や行政等に対して、施設・事業所の取り組みを理解していただくため、ランドデザインの改定作業を進めております。来年1月末を目途に、会員からの意見・要望などを取り入れ、来年2月に行われる総会で改定最終案を提案する予定です。



つながれひろがれちいきの輪 in TOKYO

東京都高齢者福祉施設協議会では東京の高齢者福祉施設による、地域によりそうキャンペーン「つながれひろがれちいきの輪 in TOKYO」を10月～11月の期間に開催いたしました。キャンペーンにご参加いただいた方は関係団体を含めると317団体となります。(平成28年11月時点)
各法人や事業所で取り組まれた内容についてのレポートは高齡協のFacebookに掲載しております！各地域の社会福祉法人が行なわれている地域に向けた様々な取り組みをぜひご覧ください。なお、最終的な活動報告書としてまとめ、皆様にご覧いただけるように進めて参ります。



【高齡協が実施している調査】*現在報告書作成中

- 特養のショートステイへの意識調査（居宅ケアマネ向け調査）
- 特養における利用率および介護職員充足状況に関する実態調査（特養向け）
- 平成27年度東京都内特別養護老人ホーム入所（居）待機者等に関する実態調査
- 支援センター運営実態調査（地域包括および在宅介護支援センター向け）
- 介護保険負担限度額認定の見直し及び介護保険負担割合証による利用者・家族への影響に関する調査（特養向け）

東京在宅福祉・介護フォーラム実行委員会にて財務省に要望書を提出

10月11日参議院議員会館にて財務大臣宛の要望書を提出しました。
今回要望書の提出は、フォーラム実行委員会の構成団体から代表者4名で訪問し、現場のおかれている状況や要介護1・2の認定を受けた利用者の方の実態についてお伝えして参りました。



【養護分科会】

●都内の養護老人ホームの空床情報を高齡協のホームページにて掲載しています。トップページの「分科会・委員会」欄にある養護分科会ページ内に情報を掲載しております。関係機関の皆様はぜひご活用ください。

【東京都高齢者福祉施設協議会 facebook 随時更新中！】

東京都高齢者福祉施設協議会 facebook も随時更新中！
なお、東京ケアリーダーズ アクティブ福祉in東京'16でのダンスおよびトークセッションがYOUTUBEでご覧いただけます。「東京ケアリーダーズ」で検索し、ぜひご覧ください！！

